

平成 29 年度

健康部 重点施策・事業の進捗状況

※保健所については、別途進捗状況を作成しています。

(1) 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業の推進

目標	市内の充実した社会資源を最大限に活用し、市民の健康増進や地域医療のさらなる充実、災害時における医療救護体制の強化を図るため、健康医療都市ひらかたコンソーシアムに掲げる 8 つの分野の連携事業に基づき、構成団体と連携して、災害医療訓練をはじめ、市内の医療機関への医療通訳士派遣や小中学生に対する健康教育、健康づくり・介護予防、産後ケア事業、健康医療に関する情報発信などの連携事業を推進します。
取り組み	健康医療都市ひらかたコンソーシアム 5 周年記念事業として、健康・医療・福祉フェスティバルと同日に、在宅医療をテーマとした講演会を開催するとともに、コンソーシアムの 5 年間の取り組みを紹介したパンフレットを作成します。また、平成 27 年 6 月から実施している医療通訳士登録派遣事業は、さらなる派遣体制の安定を図り、かつ、対象言語の拡大を図るため、第 3 回医療通訳士養成講座を実施します。
	平成 29 年度当初予算：6,372 千円

9 月末の 進捗状況 【〇】

10 月 22 日（日）にコンソーシアム 5 周年記念事業として、やなせななさんによる講演会「大切な人と生きること～在宅医療を考える～」を開催予定。10 月 20 日（金）まで申し込みを受け付けている。5 周年記念のパンフレット及び記念品についても作成を進めている。

医療通訳士登録派遣事業については、9 月から養成講座を実施している。

(2) 救急医療体制の整備

目標	本市には、北河内夜間救急センターや枚方休日急病診療所などの初期救急医療機関から高度救命救急医療機関までが整備されており、この機能を維持し、引き続き確保します。また、老朽化した医師会館及び休日急病診療所の市立ひらかた病院整備後の有効活用地への移転にあわせて、初期救急医療体制について検討を行います。
取り組み	関西医科大学附属病院をはじめとする救急医療機関を支援するとともに、北河内夜間救急センターの事務局として、年間を通じた夜間小児救急医療の円滑な提供に努めます。また、医師会館及び休日急病診療所の移転にあわせて、初期救急医療体制のあり方について、関係諸団体、諸機関との協議・調整を行いながら検討を進めます。
	平成 29 年度当初予算：239,876 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	関西医科大学附属病院をはじめとする救急医療機関に対して支援を行った。北河内夜間救急センターについては、受診対象を中学 3 年生までに拡充し、夜間における小児救急医療の円滑な提供に努めた。
----------------------	---

(3) 災害時の医療救護体制の再構築	
目標	災害時の医療救護体制の強化に向けて、関係機関との連携を進めます。
取り組み	<p>災害時の医療救護体制の強化に向けて、関係機関との協議・調整を行いながら、国が広域的に行う大規模地震時医療活動訓練にあわせた訓練を実施するとともに「枚方市災害時医療救護活動マニュアル」の策定を進めます。</p> 
平成 29 年度当初予算：2,064 千円	

9 月末の 進捗状況 【○】	7 月 29 日の国の大規模地震時医療活動訓練にあわせ、枚方市災害医療対策会議として参画し、拠点応急救護所の設置訓練及び傷病者への医療救護活動に係る医師会医療班と DMAT・AMAT との協働連携訓練を実施した。また、「枚方市災害時医療救護活動マニュアル」の策定も進めている。
----------------------	--

(4) 第 3 次枚方市食育推進計画の策定	
目標	子どもから大人まで市民一人ひとりが自らの「食」について考え、行動することを目的に、食育を総合的かつ計画的に推進する指針として「第 3 次枚方市食育推進計画」を策定します。
取り組み	平成 28 年 3 月に策定された国の第 3 次食育推進基本計画を踏まえ、本市においても食育基本法第 18 条に基づく市町村計画を策定するため、「食に関する市民意識調査」等を実施して基礎データの収集を行い、平成 30 年度から平成 34 年度までを計画期間とする「第 3 次枚方市食育推進計画」を策定します。
平成 29 年度当初予算：2,024 千円	

9 月末の 進捗状況 【○】	第 3 次枚方市食育推進計画を策定するため、「食に関する市民意識調査」(6 月 17 日～7 月 8 日) を実施し、基礎データの収集を行った。また、審議会を 2 回開催し、市民意識調査の結果をもとに食をめぐる現状と課題を確認し、第 3 次計画の骨子、基本理念、基本方針について審議を行った。
----------------------	--

(5) 国民健康保険特別会計の財政健全化

目標	累積赤字の解消を図り、平成 30 年度から施行される国民健康保険制度の広域化の準備を進めます。
取り組み	滞納処分強化等による保険料収納率の向上、ジェネリック医薬品の利用促進等による医療費の適正化、一般会計からの基準外繰入金削減等の取り組みを総合的に進めます。また、広域化に関しては、都道府県が国保財政の主体となることを踏まえ、大阪府や府内自治体の動向も把握し、スムーズに新制度に移行できるよう準備を進めます。

9 月末の 進捗状況 【 ○ 】

保険料収納率については、昨年の同時期と比べ、上回っている状況である。一般会計からの基準外繰入金については、昨年度に引き続いて当初での繰り入れは行わなかった。
広域化に関しては現在、大阪府の調整状況を踏まえ、対応を検討している。

(6) 特定健康診査・特定保健指導を中核とする保健事業の推進

目標	国民健康保険被保険者の健康寿命の延伸、医療費増加の抑制を図るため、生活習慣病の予防等を目的とした保健事業を計画的に推進し、特定健康診査の受診や特定保健指導の利用につなげます。
取り組み	「第 3 期特定健康診査等実施計画」「第 2 期データヘルス計画」を策定し、PDCA サイクルに基づく事業展開を図ります。 特定健康診査結果データから糖尿病性腎症のリスクの高い対象者を抽出し、希望者に 6 ヶ月間の専門的な保健指導プログラムを新たに提供することで、人工透析への移行防止等の重症化予防を図ります。 生活習慣の改善によって予防効果が大きな 40 歳代の特定健康診査受診率の向上を図るため、診査対象前の 35 歳から 39 歳の国民健康保険被保険者を対象に、インターネットを活用した郵送型簡易健診を実施します。 平成 29 年度当初予算：20,077 千円

9 月末の 進捗状況 【 ○ 】

「第 3 期特定健康診査等実施計画」及び「第 2 期データヘルス計画」を現在策定している。
「糖尿病性腎症重症化予防事業」については、10 月末からプログラムを開始する予定としている。
「郵送型簡易健診」については、現在申し込みを受け付けている。

(7) 福祉医療費助成事業の運営

目標	誰もが心身ともに健康に暮らせるまちをめざし、医療費の一部を助成することで、子どもの健やかな育成や高齢者・障害者等の健康保持及び福祉の増進に努めます。
取り組み	大阪府において、福祉医療費助成制度の改正が進められていることから、その動向を注視し、適切に実施します。また、子ども医療費助成（高校生世代までの拡充への財源）を含めた枚方市医療費助成制度の課題整理を行います。

9月末の 進捗状況 【〇】

大阪府において、平成30年4月以降、持続可能な制度として制度改正が行われることに伴い、本市でもそれにあわせて、9月定例会で条例改正を上程し、可決された。今後は円滑な制度実施に向けて、市民や関係機関等へ新たな助成制度の周知に努めていく。また、子ども医療費助成の年齢拡大等についても引き続き課題整理を行っていく。